



2018年、45回目の全国一斉の

清掃登山・クリーンハイクを成功させよう

日本勤労者山岳連盟は、1974年から全国の地方連盟・会・クラブに、清掃登山・クリーンハイクの取り組みを呼びかけ、毎年6月（東北、北海道は7月）の第1日曜日を全国一斉の清掃登山・クリーンハイクの日として取り組み、今年で45回目を迎えます。

昨年は、389の会クラブが697の登山コースで取り組み6,208名が参加し、5,124kgのゴミを回収しています。登山コースのゴミは少なくなっており、殆んどないという報告もあります。しかし、登山口の近くや駐車場にはゴミが散乱しているところもあります。また、産業廃棄物と思われるゴミも確認され、それぞれの地方自治体に連絡して回収するように呼びかけています。

クリーンハイクは、登山者が誰でもどこでも取り組むことのできる自然保護運動の第一歩です。清掃登山・クリーンハイクの行動は、単にゴミを拾うというだけでなく、山を汚さず傷つけないという登山者のモラルを高める呼びかけでもあります。広範な登山者に山の自然の大切さをアピールする行動として、多くの会員の参加を呼びかけるものです。

積極的なところでは、自治体などと協力し、名義後援を受けて一般登山者にも広く訴えて、一般参加者や子供たちにクリーンハイクの体験をしてもらい、自然保護がいかに大事であるかを伝える取り組みも行われています。

全国一斉の清掃登山・クリーンハイクに向けて準備し、実りあるものにしましょう。

### 記

- 1、ゴミは山に捨てないようにし、持ち帰りましょう。
- 2、捨てられているゴミを見つけたら、持ち帰るようにしましょう。
- 3、登山者・ハイカーだけでなく、一般旅行者、外国登山者にも声をかけ、ゴミの持ち帰りを呼びかけましょう。
- 4、すべての登山者・ハイカーが、山と緑の番人、山岳自然を守る番人としての自覚を持ち、山歩きを楽しみましょう。
- 5、山岳自然破壊の開発などにも関心を持ち、目撃情報を報告してください。



拾うひとは捨てない

2018年6月 日本勤労者山岳連盟